

宮園会創立35周年記念 特 別 号



宮園上3丁目より 撮影:永岩

宮園会だより

発行所
宮園 9-9-5
中高齢クラブ 宮園会
発行責任者 高橋 正
TEL (0829) 38-3055

特別号の 紙 面

- 2 令和7年度「宮園会」総会
- 3 日帰り旅行(岩国方面工場見学)
- 4 永年功績・功労表彰(人物紹介)
- 5 人物紹介(川上、飯山の両氏)
- 6 宮園会のクラブ活動案内
- 7 地域へのボランティア活動

創立35周年に想う

「出会い」——育む「いのち」をつなぐ

宮園会会長 高橋 正

人生100年時代、創立35周年を迎え関係各位に感謝申し上げます。ご同慶の至りでございます。

睦と生きがいの「コミュニティ団体」宮園会を設立されました。高齢者の「出会い」と、いのち「育む」場、社会活動の魂が宿るところです。

本誌に同時掲載記事(会員2名の活動)にみる夢とロマン——これら活動の積み重ねは美しい年輪を作り、次世代の「いのち」へつながるのです。

「宮園会」には、宇宙的な広がりがあります。35年間の歴史に、将来の夢を描き加える偏見と無謀をお許しください。

▽第1幕(過去)——

35年前宮園会が誕生。日本は戦災復興を遂げ、「経済大国」に成長、海外からは「日本の世紀」ともはやされていきました。一方、地域には、むかし「企業戦士」と尊ばれた、高齢者の姿がありました。企業戦士卒業生、新社会浪人です。このひとたちが(親

▽第2幕(現代)——令和7年6月16日「世界長寿サミット」第1回が開催され、百歳以上人口が多い京丹波市に、世界の「高齢化先進国」が集まりました。日本を大きく見れば「経済大国」から「高齢化社会」への舵取りが緒についています。

「宮園会」では——行事への年間参加者は延べ2000人を超えています。

また活動の新規性をみれば、大学の研究活動への協力支援、あるいは

▽第3幕(将来)——

「いのち」をつなぐ。100歳(超高齢者)の方が素朴に語りました——「今が幸福です」

「*老年的超越」にやどる幸福感。「頼って生きていいのだ」という境地に新しい生き方があります。ひとりでは生きられない。「宮園会」との関係性の中にきつと幸福感が見つかります。

*35年前、スウェーデンの社会老年学者トルンスタムが提唱。加齢につれて価値観が変わる(物質重視から精神重視へ)

宮園会35周年記念行事(第1弾)

記事提供:飯山洋一郎さん

錦帯橋



- ・ イベント名 : うまもん工場見学および下瀬美術館観賞
- ・ 探訪日 : 令和7年3月12日(水)
- ・ 探訪地 : 岩国(白蛇神社・うまもん工場・錦帯橋) 大竹(下瀬美術館)
- ・ 探訪人数 : 14名
- ・ 移動手段 : マイクロバス(津田交通借上げ)
- ・ 行程 : 以下のとおり

★午前 9:00 … 宮園市民センター出発、一路岩国へ(国道2号線経由)

★午前 10:00 … 白蛇神社到着(約50分滞在)

▼ 今年は巳年、巳という字は蛇が冬眠から目覚めて地上にはい出す姿に似ていて、脱皮を繰り返して大きくなる生き物で不老不死の象徴ともいわれてるそうです。このような縁起が良く、ましては世にも珍しい白い蛇を目の当たりにできたことは貴重な体験でした。

★午前 11:00 … うまもん工場到着(約40分滞在)

▼ うまもん工場は、今から300年前に始まった醤油製造業を経て、漬物製造販売しており、工場の建物は築150年以上、江戸時代末期の土蔵造りだとの説明であった。ここで製造している漬物は、伝統的植物性乳酸菌発酵技術で三度漬けだそうです。

★午前 11:55 … 岩国国際観光ホテル着(昼食会場 約70分滞在)

▼ 昼食は、岩国の郷土料理「岩国寿司」であった。この寿司の歴史は古く、岩国城の初代藩主、吉川広家が料理番に命じて保存食としてつくらせたのが始まりだそうです。殿様寿司ともいわれ押し寿司の一種だが、広島周辺の押し寿司とは少し製法が異なり、岩国レンコンを使っているそうです。

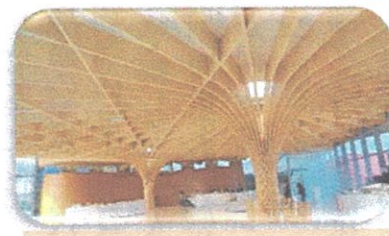
★午後 1:40 … 下瀬美術館着(約110分滞在)

▼ 2018年、丸井産業(株)の創業60周年を機に構想され、2023年に開館された下瀬美術館は、代表取締役下瀬ゆみ子氏が先代から受け継いだコレクションを保存、公開する施設だそうです。8つの可動展示室を配置し、キャッチフレーズの『アートの中で、アートを観る。』に相応しい館内外であった。

(展示品の考察は、アート音痴のため、できませんが…)

★午後 3:30 … 下瀬美術館出発、一路宮園へ(午後4:30着)

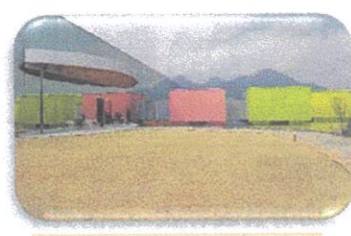
▼ 各人が、宮園住宅内の都合の良いバス停で下車し帰宅



エントランス:天井アート(木製)



美術館出入口で記念撮影



可動展示室外観



岩国国際観光ホテル前



白蛇神社



うまもん工場

令和7年度宮園会総会

5月11日(日)

於 宮園市民センター

令和7年度の総会は、会員102名に対し、出席者34名、委任状41名で総会は成立。高橋会長を議長に選任し、すべての議案が満場一致で承認された。▲総会直後は米寿、喜寿のお祝い、および7名の永年表彰が行われ、長年にわたる功績に盛大な拍手が送られた。▲懇親会では、来賓の方々から挨拶を戴いたあと、米寿の6丁目中川さんによる乾杯の音

頭で宴会がスタート。▲豪華なお弁当を開き、良く喋り、食べ、飲み、和やかな雰囲気の中、交流の輪が広がっていく。アトラクションは、宮園大正琴クラブ6名による演奏で幕開け。『神田川』等、演奏に合わせて歌える3曲を熱演。まさに会場が一体となり、大いに盛り上がった。続いて池本さんの優雅な舞踊、歌自慢の方々のカラオケ等、さまざまな余興が繰り広げられた。会の終わりは全員で会歌斉唱。▲笑顔溢れる楽しいひとときで更に懇親が深まる有意義な1日となった。

(記事 杉田)

高橋会長を議長に選任
総会がスタート

総会の始まりは国歌斉唱



優雅な舞いに魅せられる



大正琴クラブによる演奏



客席は様々な話題が飛び交う



カラオケでも盛り上がる

乾杯!!



会長挨拶



司会進行



自己紹介とカラオケと



今年の桜は五分咲き程度で、少し肌寒い中での花見会となりました。参加者は例年より一寸少ない31名でしたが、美味しい弁当にお酒。皆さんのカラオケや自己紹介などで親睦も更に深まり、笑いの絶えない大変賑やかな会でした。特に最後のビンゴゲームでは、「ビンゴ」の声とともに歓声が上がり、会場は大変な盛り上がりでした。来年はもっと多くの方にお気軽に参加して頂けることを心より願っています。

(記事 黒田)

弁当を前に話に花が咲く!!



来賓の方々



お花見会賑々しく開催

令和7年4月5日(土)

於 8丁目集会所

人物紹介 Part1: 宮園会にこの人あり

令和6年度 功労・功績表彰授賞 市老連指導者講習会
多田納勲さん・藤田美子さん受賞

令和7年1月28日(火)大野東市民センターにおいて、令和6年度廿日市市老連主催「地域指導者講習会」が、約150名の参加にて開催されました。

多田納勲さんが功労賞、藤田さんが功績賞を受賞されました。お二人には受賞の感想を頂戴しましたので、紹介いたします。会の最後のイベントは、広島県警察音楽隊による演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりつつあります。(記事 永岩)



多田納勲さん

このたび功労賞の表彰をしていただきました。

思い起こせば、平成24年入会から13年、故石津会長・川端会長の時代に仕え、地域活動の指導を受け、いきなり百数十名の知らない方々との出会いが始まりました。初めての団地生活の中で人との出会いの大切なことを学び、楽しく過ごして参りました。



今では、顔は判ついても名前が出てこない年齢になりましたが、今回の表彰は、皆さまあつてのことと感謝し、これからも楽しく活動したいと思っています。(多田納勲)

川上貞夫氏の活躍を伝えるチャイナデیلیー新聞より

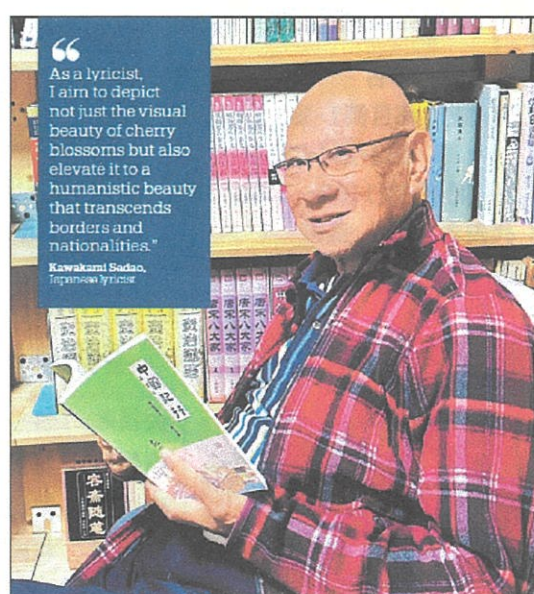
Japanese lyricist sings Wuxi's praises

Chinese city has captured the heart of a songwriter who puts his feelings into words

In a world where the pursuit of wealth and status often takes precedence, Kawakami Sadao, a retired Japanese businessman known as Zengzi, shines as a beacon of a different ethos. At 78 years old, he has chosen a path less trodden, prioritizing spiritual enrichment over material wealth.

Over the past four years, Kawakami has devoted himself to a passion that sets his soul ablaze - writing Chinese lyrics. Despite relying on a modest pension, he has poured his heart and resources to create over 30 songs that have captured the hearts of hundreds of thousands online in China.

"In my late 70s, I've come to realize that material pursuits hold little allure for me," the Japanese lyricist shared in a recent interview with China Daily. "In the time I have left, I want to indulge in what I love, even if it means living a more humble existence."



"As a lyricist, I aim to depict not just the visual beauty of cherry blossoms but also elevate it to a humanistic beauty that transcends borders and nationalities."

Kawakami Sadao, Japanese lyricist

昨年10月発行「宮園会だより」の40号で紹介した川上貞夫さんですが、この直後11月の中国(チャイナ)の英字新聞「チャイナデیلیー」でも紙面の半分を割き「日本の作詞家が無錫(むしゃく)を称賛」という大見出しでその活躍を紹介しています。

記事によると、川上さんは中国国内の作詞家コンテストで2回の金賞、2回の銀賞を受賞するなど大変有名な作詞家であると記されています。また、彼らがリリースした楽曲が急上昇した理由として、中国文化への敬愛と、たゆまぬ努力に表れていると褒め称えています。

更に、作曲家彼の作詞を作曲は「作詞家として、桜の視覚的な美しさだけでなく、国境や国籍を超えた人間的な美しさまで高めることを目指している」と称賛しています。

右の写真は、宮園にある川上さんの自宅書斎を映したのですが、本人にお聞きしたところ、作詞だけではなく文筆家でもあり、現在も執筆活動にも余念がないとのことでした。

今後は、自分の作詞した曲を日本でも歌ってもらえないか模索中との事。文化交流に新たな視点をもたらした川上さん、今後ますますの活躍を期待します (記事 永岩)

人物紹介 Part2: 宮園会にこの人あり

飯山さん等の活躍を伝える「南日本新聞」の記事

59年卒14人が訪問 最後の同窓会 母校へ恩返し



後輩と交流楽しむ 球根300個寄付

南九州市頤娃の栗ヶ窪小学校を59年前に卒業したR.O.G.の7日、最後の同窓会として母校を訪問した。県内外から78歳の14人が集結し、後輩たちの交流や思い出話を楽しんだ。

母校へ恩返し同窓会!!



飯山洋一郎さん

今から六十五年前に卒業した小学校を訪問し、児童たちとチューリップの球根植え、授業参観、初めて体験する完全給食を楽しみました。少子化で今や三十七名となりました。

つた全児童たちを元気づけようと立案した企画でしたが、逆に我々が元気をもらい、清掃時間を割いて開かれた「お別れの式」での校歌合唱では児童たちの元気な声に圧倒され、涙で声になりませんでした。今では手元にはない卒業写真まで頂き、NHKなど複数のメディアも取材に訪れ、大きく報道されたこともあり、思い出として心に強く残る一日となりました。児童たちとの集合写真を挿入した今年のカレンダーを手作りしてプレゼントしました。(飯山洋一郎)



藤田美子さん

今回の賞の推薦の話を頂いた時、今回は不思議と素直に受けました。これは、私一人に頂くものではなく、1年余りの闘病生活を送っている主人にも...との思いを強く感じたからです。

さて、振り返ると宮園会では、民謡クラブの山下さんの指導のもと数年楽しく過ごしました。また、老人クラブの演芸大会や、敬老会、市民センターまつりなどに参加し、仲間と一緒に「芸」を披露したり、今では懐かしい思い出です。百歳体操クラブでは、毎週会員の皆さんと会える場所として、また、健康のためと集い始めて4年継続しています。会員の友人に誘われて新しく入会された方も、子供が同級生だったり、かつての職場が同じだったり再会の場にもなっています。

私は、民謡クラブも百歳体操もお世話する立場ですが、皆さんと繋がっていることで、私が活かされていると痛感しています。今回このような賞を頂いたことを改めて感謝いたします。(藤田美子)



写真の解説

上段:功労賞表彰式 最前列左が多田納さん
中段・下段:広島県警察音楽隊による演奏風景



(記事 村岡)



宮園小・保育園の花壇植栽



宮園市民センター周辺清掃



宮園小「昔あそび」伝授

会報毎の「解説のテーマ」と、頂いた先生方の紹介

会報第41号 「膝 痛」
 会報第40号 自分らしくいきいきと
 会報第39号 手帳「つながるポケット」
 会報第38号 夜間頻尿について
 会報第37号 高齢者の目の病気
 会報第36号 高血圧症と予防
 会報第35号 胃がんについて
 会報第34号 肺炎について
 会報第33号 糖尿病について
 会報第32号 もしものために(これから手帳)
 会報第31号 心臓の病気について
 会報第30号 「耳の病気」難聴について
 会報第29号 鬼は外 福は内
 会報第28号 新型コロナウイルスとともに

熊川圭一先生
 丸田千絵先生
 錦織敦志先生
 小深田義勝先生
 寺田千秀先生
 青山純也先生
 祖田敬子先生
 坂本優介先生
 青山純也先生
 渡邊菜見子先生
 祖田敬子先生
 寺田千秀先生
 寺田千秀先生
 寺田千秀先生

私達の会報には、毎月「健康ひとくちメモ」が掲載されてきました。左の表はこれまでに「アノリハビリティ」で「アノリハビリティ」の院長先生を始め、それぞれ専門分野の各先生方に解説頂いた「テーマ」です。多忙を極める中、しかもボランティアで記事の提供頂いていることに改めて感謝いたします。

これらの「テーマ」は編集委員会で予め決め、お願いしたものと、各先生方にお任せしたものと「二通りあります。私達壮年にとって、最大関心事は「いつまでも健康で元気に動ける」にあります。これからは、先生方に教えを請いながら、これらのメモが皆様方の健康維持のために役立つ事を念じます。(記事 永岩)

健康ひとくちメモ

解説の先生方に感謝!!

宮園会のボランティア活動

諸先輩の熱意に引かれ...



クラブ紹介

宮園会では、会員交流の場として、また、健康増進や娯楽・教養向上のため、鉛筆画教室、麻雀クラブ、着物着付け教室、ペタンクやカローリングなどのスポーツ、ゴルフクラブ、すみれ倶楽部、百歳体操を定例実施しています。
 尚、会員数は令和6年12月現在のものです。ゴルフクラブと百歳体操を除き、開催の会場は、宮園市民センターです。

鉛筆画教室

会員数 10名
 開催日 毎月第1・第3または第2・第4火曜日
 時間 午後1:00~4:00
 代表者 永岩 良啓

鉛筆画展示令和元年6月



麻雀クラブ

会員数15名
 開催日 毎週火曜日
 時間 午前9:00~12:00
 連絡先 総務部 永岩宛



着物着付け教室

会員数 7名
 開催日 毎月第1月曜日
 時間 午前9:30~12:00
 代表者 村岡 眞子



ゴルフクラブ

会員数 26名
 開催日:年間3回程度コンペ
 (日時・場所等は随時連絡)
 代表者 国光 拓郎



スポーツクラブ

会員数 12名
 開催日 毎週月曜日
 時間 午後1:00~4:00
 代表者 小泉 昭

カローリング大会より



ナイスショット!!



ペタンク大会より



すみれ倶楽部

会員数 18名
 開催日 毎月最終火曜日
 時間 午後1:30~3:30
 代表者 藤田 美子



百歳体操

会員数 12名
 開催日 毎週金曜日
 時間 午前10:00~11:00
 開催場所 8丁目集会所
 代表者 藤田 美子



クラブ外の実施

宮園会会員による
 作品展示
 (宮園市民センター)
 不定期ですが、会員のパステル画や鉛筆画、書などの作品展示も行います。



ミニ集会の実施
 宮園会の3つのグループ各々で、近くの集会所に集い、会員相互間の親睦や交流を目的に不定期で開催しています。

ミニ集会でのイベント



会員動向

新会員紹介

4名の方が新たに入会

4月1日現在 (敬称 略)

飯山 律子 (2丁目) 下沖 京子 (7丁目)
平野 久枝 (9丁目)
荏田 敬子 (賛助会員)

皆様宜しくお願ひします。!

屋号・店名	業種・職種	場所
お好焼き ひだまり	お好み焼き	宮園
パティスリーパック	フランス菓子	宮内
ドッグニシニホン	ペットショップ	宮内
焼肉わかば	焼肉	宮内
健牡蠣 川崎水産	かき直売	宮内
みはら	墓石・仏具	宮内
葵会館宮内広栄社	仏事	宮内
西山石材	石匠位認定店	宮内
桂造園	造園工事	宮園
宮園薬局	くすり	宮園
はつかいちスポーツラボ	マッサージ	宮園
歌謡スタジオ三笠	カラオケ店	宮内
花遊館	フラワーデザイン	四季が丘
廿日市葬祭会館 (広島セレモニー株式会社)	仏事	串戸

バラネット協力会社様一覽

宮園会では、会の活動に賛同頂いた沢山のお店や会社に協力を得て、これらのお店や会社を利用する際に、会員登録を提示するとサービスを受けられます。

編集後記

4月初旬、宮園会の活躍を物語る数字を見て驚かされた。それは、「各クラブの活動状況」を集計、市老連に報告したが、何と参加者延べ人数が1900名にも上っていた。この他の行事の参加数も加えると、ゆうに2000名を超える事が分かり、改めて日々の積み重ねの凄さと、クラブの存在の大きさを強く感じた。

それと同時に、会が実施する様々な行事や各クラブに参加できない会員の方々の存在と、会の動向をお知らせする必要性も忘れてはならない。さて、この会報は今回「第42号」の発行を迎えたが、これまで継続出来ているのは、会員の皆様方、編集委員を始め、宮園会を取り巻く沢山の方々の「支え」のお陰だったと思う。

振り返ると、小学校々長保育園々長、市民センター所長、また、宮園会顧問の方々にも協力を仰ぎ、更にアキノ病院の先生方にも「健康ひとくちメモ」で医事関連のコメントを寄せて頂いているお陰でこの会報が成り立っている。これからも、会員の皆様が宮園会との繋がりをより強く感じて頂けるような記事づくりを目ざして頑張りたいと思う。

(記事 永岩)

編集委員 (藤田、岡本、村岡、杉田、黒田、永岩)

掲示板

6月度までの主な関連行事 ※は参加行事

- 2月21日(金) 健康相談会(宮園市民センター) 27名参加
- 3月12日(水) うまもん工場見学、下瀬美術館鑑賞 14名参加
- 4月5日(土) 花見会 (8丁目集会所) 31名参加
- 5月11日(日) 宮園会定期総会(委任状41名) 34名参加
- 5月31日(土) 宮園・四季が丘地区老連総会実施 6名参加
- 6月4日(水) 宮園小・宮園保育園花壇整地作業 14名参加
- 6月12日(木) 宮園小・宮園保育園花壇植栽作業 12名参加
- ※6月19日(木) ベタンク大会(まるくる大野アリーナ) 不参加
- 6月27日(金) 宮園会だより第42号発行
- 2月~6月 各クラブ定例実施 鉛筆画教室、麻雀クラブ
- すみれ倶楽部、ゴルフクラブ、着付け教室、カローリング、百歳体操

今後の主な関連行事予定 ※は参加行事

- 7月20日~8月31日 宮園小、保育園の花壇への水遣り
- 7月29日(火) 地区老連ボウリング大会(五日市 アヴィーユボウル)
- ※8月2日(土) 宮園夏祭り出店検討中(宮園野球場)
- ※8月21日(木) 市老連主催カローリング大会(サンチェリー)
- 8月27日(水) 地区老連 演芸大会実行委員会(宮園市民センター)
- ※9月10日(水)~9月14日(日) 市老連主催作品展(はつかいち美術ギャラリー)
- 10月11日(土)又は25日(土) 地区老連 演芸大会(宮園市民センター)
- ※10月14日(火) 市老連主催体力測定会 サンチェリー体育館
- 10月期日未定 宮園市民センター周辺清掃活動
- 7月~10月 カローリング練習、鉛筆画教室、麻雀クラブ、すみれ倶楽部、ゴルフクラブ、着付け教室、百歳体操は定例実施

次号の会報発行予定は令和7年10月です。